

**「児童生徒学力向上調査研究にかかる模擬授業」指導計画**  
**小学校 算数 5年 小数のわり算**

過程	時間	主な学習活動	指導の手立て及び評価	授業改善策と のかかわり
つかむ	2	1 めあてを確認する。 ・小数のわり算について考えることに意欲を持つ。	○本単元を通してのめあて「小数のわり算を考えよう」について、除数が小数になる場合のわり算に興味・関心が持てるようにする。  ☑小数のわり算について、関心を持ち、わり算の意味を考えようとする。	
		2 小数でわることの意味 ・ $200 \div 2.5$ の立式 ・ $200 \div 2.5$ の意味をテープ図で表現し、既習の(整数÷整数)をもとに考える。 ・自分の考えを説明するために、図で表現したり、発表したり、友達の考えを参考にする。 ・言葉の式にまとめる (代金) ÷ (買った長さ) = (1mのねだん) 【整数のわり算をもとにする考え】	○既習事項の(整数÷整数)(小数÷整数)と関連付けて考えられるよう既習事項を確認する。 ○数量関係を捉えられるように、絵やテープ図を使って考えさせるようにする。 ○数量関係を言葉の式で表したとき、理解しやすいように、テープ図や数直線と照らし合わせながらまとめるようにする。  ☑テープ図を基に数量の関係が整数の除法のときと同じであることに気付き、小数の除法を考える。	*1 *2
追求する	2	3 整数÷小数の計算の仕方 ・既習事項をもとに計算の仕方を考える。 ・「2.5mを0.1mの25 <small>コ</small> 分として考える方法」と「2.5mの10倍の25m分を求めてから1m分を求める方法」について学習する。 【0.1の単位をもとにする考え】【わり算の計算のきまりをもとにする考え】	○除数が小数でも、整数のわり算の考えを基に、テープ図と照らし合わせながら計算の仕方を考えさせるようにする。 ○計算のきまりを利用しながら、テープ図と照らし合わせながら考えさせて、計算の仕方を創り上げるようにする。 ○考え方を話し合わせたり、全員で練り上げたりしながら計算の仕方を考えさせるようにする。 ☑整数の除法や計算の決まりを基に、除数が小数の計算の仕方を考え、計算ができる。	*3
		4 小数÷小数の計算の仕方 ・問題の中の数量関係を小数÷小数の式に表し、計算の仕方を考える  ・ $7.8 \div 6.5 = \square$ ↓×10 ↓×10 $78 \div 65 = 1.2$ } 等しい	6.5mの重さが7.8kgの鉄のぼうがあります。この鉄のぼう1mの重さは何kgですか。  ○(小数÷小数)の筆算の仕方を、計算の決まりや整数の除法の考え、(整数÷小数)の計算の仕方の考えを基に、計算の仕方を創り上げるようにする。 ○小数でわる筆算で、小数点の移動は、除数、被除数を10倍、100倍したことで、移動することを確認しながら、理解させるようにする。 ○数量関係を数直線に表して、把握できるようにする。 ☑(小数÷小数)の計算の仕方と筆算の仕方を理解している。	*1 *2 *3
広げる	3	5 被除数と商の大きさの関係について ・純小数、帯小数でわったときの商と被除数の大きさの関係について考える。	1.2mの代金が240円の青のリボンと、0.8mの代金が240円の赤のリボンがあります。1mのねだんは、それぞれいくらですか。  ○ $240 \div 1.2$ と $240 \div 0.8$ の答えを比較することで、わる数とわられる数の大きさの関係を調べさせ、関係を予想し、話し合い活動を通してまとめるように	*1 *2 *3

		<p>する。</p> <p>○いくつかの計算の答えとわられる数を比較させて、予想した関係が成り立つことを確認できるようにし、式を見ただけで答えが見積もれるよさを体感できるようにする。</p> <p><b>知</b> 小数のわり算では、1より小さい数でわると、その商は、わられる数より大きくなり、1より大きい数でわると小さくなることを理解できる。</p>		
	6	<p>小数の除法の余りのおおきさについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小数のわり算で、あまりの大きさは、わられる数のものと小数点にそろえてうつことを考える。</li> <li>・検算をすることによって、あまりの大きさを確認する。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>2.5 ℓ のジュースを 0.7 ℓ 入りの水とうに入れていきます。何個の水とうをいっぱいにできますか。また、何 ℓ ありますか。</p> </div> <p>○単位を一つ下げて考えて、あまりの大きさを考えさせ、計算の結果と比べながら考えさせるようにする。</p> <p>○計算結果を検算することにより、あまりの大きさを考えさせ、あまりは、わられる数の小数点の位置にそろえてうつことを理解できるようにする。</p> <p><b>表</b> 小数のわり算で、あまりの大きさはわられる数の小数点の位置にうつことができる。</p>	*2 *3
	7	<p>小数のわり算の商を概数で表すことについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小数のわり算の商を、上から2けたのがい数で表すには、何けための数を四捨五入すればよいか考える。</li> </ul> <p><b>【四捨五入の考え】</b></p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>1.4 ℓ の砂の重さを量ったら、2.6kg ありました。この砂の 1 ℓ の重さは何 kg ですか。四捨五入して、上から2けたのがい数で求めましょう。</p> </div> <p>○四捨五入の意味の確認をして、上から2けたのがい数で表すには、何けた目を四捨五入すればよいか考えさせ、がい数で表すことができるようにする。</p> <p><b>表</b> 小数のわり算の商を、上から2けたの概数で表すことができる。</p>	*1 *2
深める	8	<p>小数の倍とわり算</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もとにする量の2倍を考えたときのことをもとに、小数倍になるときの式を作り、何倍かを求める。</li> </ul>	<p>○数直線を使って数量関係を把握できるようにし、もとにする量を1とみて、何倍かを求めることができるようにする。</p> <p>○整数倍のときの考えをもとに、量が小数になっても、わり算の式で求めることができるようにする。</p> <p><b>知</b> ある量が小数のときも、ある量の大きさが、もとにする量の大きさの何倍にあたるか求めるには、わり算で求めることを理解する。</p>	*1 *2
	9	<p>もとにする大きさを求める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「基準量の何倍」と「比較量」が分かっているとき、基準量を□として、かけ算の式で考えて、わり算で求めると考えやすいことに気付きそれをを用いることができるようにする。</li> </ul>	<p>○問題を読んで絵や図、数直線に数量関係を表現し、既習事項をもとに演算決定できるようにする。</p> <p>○式を立てたときに、もとになった考え方を筋道立てて発表する活動を通して、考え方を交流し合い、数学的な考えを練り上げる活動を取り入れる。</p> <p><b>考</b> 倍を表す数が小数倍のときも、「もとにする量」の大きさを求めるには、かけ算で式を立てて、わり算で計算すると分かりやすいことに気付く。</p>	*1 *2 *3
(本時)				